

遅れのある子どもへの対応に関する調査研究  
報告書

平成20年3月

社会福祉法人 日本保育協会

<b>第1章 調査の概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の目的-----	1
2. 調査の方法と内容(アンケート調査)-----	2
3. 調査の方法と内容(ヒアリング調査)-----	6
4. 調査の方法と内容(検討会)-----	9
<b>第2章 調査の結果</b>	<b>10</b>
<b>第1節 施設調査</b>	<b>10</b>
1. 回答施設の属性	10
2. 遅れのある子どもの支援を目的とした地域ネットワーク	21
3. 保育所で受け入れている障害児(遅れのある子どもを含む)の状況	24
<b>第2節 遅れのある子ども調査</b>	<b>30</b>
1. 子どもの基本属性	30
2. 子どもの家族の状況	36
(1) 子どもの両親の状況-----	36
(2) 子どものきょうだいの状況-----	37
3. 「遅れ」の気づきに関する状況	39
(1) 遅れの可能性に気づいた時期-----	39
(2) 遅れに気づいたきっかけ-----	42
(3) 保育所の中で「遅れ」に気づいた人-----	44
(4) 遅れの可能性に気づいた後の保育所の対応-----	45
4. 子どもの親に対する説明と受容の状況	46
(1) 親への説明者-----	46
(2) 最初の説明に対する親の反応(理解したかどうか)-----	49
(3) 子どもの遅れに対する親の受容に至るまでに要した期間-----	50
(4) 子どもの遅れに対する親の受容に至るまでの保育所の対応-----	52
(5) 子どもの遅れに対する親の受容に至るまでの障壁-----	54
(6) 子どもの遅れに対する親の受容の障壁の解消に役立ったこと-----	56
5. 遅れのある子どもとその親を支援するための地域ネットワークとの連携の状況	58
(1) 連携先の外部の専門機関等-----	58
(2) 外部の専門機関等との連携の内容-----	60
6. 遅れのある子どもの保育所利用状況	62
(1) 保育所の利用開始年齢-----	62
(2) 保育所の一日当たり利用時間-----	62

(3) 現在、保育所で利用しているサービス-----	63
(4) 遅れのある子どもに関する職員の研修内容-----	64
(5) 日常生活・発達状況についての親への報告・情報提供の状況-----	65
<b>第3節 ヒアリング調査</b> -----	<b>66</b>
1. ヒアリング結果の概要	66
2. 個別のヒアリング結果	69
(1) 村山中藤保育園-----	69
(2) 花園保育園-----	77
(3) ふじヶ丘保育園-----	82
(4) <sup>いろどり</sup> 彩 保育園-----	89
(5) A 保育所-----	95
(6) 橋波保育園-----	99
<b>第3章 調査結果のまとめ</b>	<b>108</b>
1. 障害児保育における保育所の現状と課題(アンケート・ヒアリング調査の結果から)-----	108
2. 障害児保育における課題解決の方向性-----	111